

平成28事業年度

事業計画書

公益財団法人 市原市文化振興財団

平成28事業年度事業計画概要

平成28事業年度は、財団の「中長期経営方針～文化の香り高いまちづくりを目指して～」を策定してから2年目の事業年度を迎え、「文化芸術振興の拠点づくり」「鑑賞型事業の更なる充実」「市内全域を対象としたアウトリーチ型事業の充実」「文化芸術の主役となる人材並びに文化芸術スタッフの育成・支援」という4つの基本方針を念頭に、文化芸術を振興する公益財団法人として、引き続きさまざまな事業を実施してまいります。

具体的には、市内全域を視野にいれて芸術文化の裾野を広げることを目的に、学校に出向いて、日本の伝統芸能を体験・鑑賞できる生涯学習型アウトリーチ事業、市内各所に出向いてミニコンサートを鑑賞できる普及・鑑賞型のアウトリーチ事業を実施します。また、文化情報紙を発行して芸術文化の振興を図るほか、文化振興ボランティアの発掘・育成、アーティストの登録・育成など、さまざまな文化振興事業（自主文化事業）を展開していきます。

一方、市原市市民会館（以下「市民会館」という。）の指定管理については、平成28年度から平成32年度までの第3期指定管理期間においても、引き続き市原市より指定管理者に選定されました。

今後も市民会館を市原市の文化振興の拠点として、施設の設置目的を達成するため、市民ニーズの高い文化事業を実施しながら、文化施設の適正な維持管理に努め、利用者に安心・安全に施設をご利用いただけるよう管理運営し、更なる市民サービスの向上に努めてまいります。

平成28年事業年度の事業計画は、次に定めるところによる。

I 公益目的事業

芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業で、文化の香り高いまちづくり形成のための基盤及び環境形成を推進すること、地域コミュニティに根ざした生涯学習事業を推進することにより、心豊かで活気に満ちた市民生活の実現に寄与することを目的に実施します。

1 文化事業

(1) 文化事業（指定管理事業）

市民会館施設の設置目的を達成するための事業で、優れた芸術文化を創造・鑑賞・体験する機会を提供するために、市民会館施設を市原市の文化の拠点と位置づけ、主催公演事業、自主公演事業を年間15事業以上実施します。

(2) 文化振興事業（自主文化事業）

指定管理事業とは異なり、財団の自主事業として実施する文化振興事業で、市内の学校に出向いてのアウトリーチ型生涯学習事業や市内全域を視野に入れたアウトリーチ型のミニコンサートや公演、有名アーティストの公演、文化芸術に携わる人々を発掘・支援する文化振興ボランティア事業やアーティストの登録・育成制度などのさまざまな自主文化事業を実施します。

2 施設管理運営事業

市原市から指定管理者の指定を受けて管理・運営を行っている市民会館施設を、市内の文化振興の拠点として適正に維持管理し、公益目的事業の内容に沿って施設貸出を実施するほか、利用者へのサービス向上と利便性の向上に務め、専門的人材による知識や技術等の供与を行う事業を実施します。

II 収益目的事業

1 宴会室における飲食提供事業

市原市民及び施設利用者の利便性向上を図るため、会議室棟4階にある宴会室における飲食提供事業を行う事業を実施します。

2 その他公益目的事業の推進に資する事業

① チケット受託販売事業

施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演の以外の公演のチケットの受託販売事業を実施します。

② 施設利用者の利便性向上のための事業

施設利用者の利便性向上のため、舞台看板、立て看板、飾花、ピアノ調律等の利用者サービスを提供する事業を実施します。

III その他の事業（相互扶助事業）

市民会館において、施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸与を行う事業を実施します。

平成28事業年度 公益財団法人 市原市文化振興財団 事業計画書

I 公益目的事業

1 文化事業

(1) 文化事業 (指定管理事業)

① 主催公演事業

公演日	実施場所	事業名	事業内容	対象年齢
4/24	大ホール	ハッピーコンサート	十代の女性を中心に人気急上昇中のガールズバンドによる鑑賞型事業。	10代～20代
5/14	小ホール	県民芸術劇場 体験付きクラシック コンサート	ニューフィルハーモニー千葉を迎えて、3歳から鑑賞できるクラシックコンサート。公演終了後にはロビーで楽器演奏体験もできる参加・鑑賞型事業。	3歳以上
6/25	小ホール	親子 de オペラ鑑賞デ ビュー「魔笛～まほう のふえ～」	二期会ブロック活動千葉を迎え、子供でもわかるようにオペラの鑑賞方法をわかりやすく、面白おかしく紹介しながら鑑賞できるオペラ公演。また、小道具をロビーで作成体験できる参加・鑑賞型事業。	0歳以上
7月頃	大ホール	スマイルコンサート	市民ニーズの高い鑑賞型事業。	10代～50代
7月頃 または 10月頃	大ホール または 小ホール	日本の文化再発見!	日本に伝統的に伝わる文化にスポットを当てた、楽しみながら学べて参加できる参加・鑑賞型事業。	全世代
10月頃	大ホール	ポピュラーコンサ ート	人気アーティストによる鑑賞型事業。	40代～50代
11月頃	大ホール	親子劇場 2回公演	子供に人気の着ぐるみによる親子で一緒に楽しめる鑑賞型事業。	幼児～親
2月頃	小ホール	伝統芸能 「いちはら名人寄席」	テレビでお馴染みの落語家を招いて実施する伝統芸能の落語楽しめる鑑賞型事業。	60代～70代

② 自主公演事業

公演日	実施場所	事業名	事業内容	対象年齢
8月頃	大ホール 及び 小ホール	市民会館探検ツアー & 技術体験ワークシ ョップ	市民会館の舞台裏を探検しながら学ぶ探検ツアーをはじめ、音響、照明のワークショップを体験・学習できる参加型事業。	全世代

8月頃	大ホール	ONE'S ONE こんさーと	音楽家、演奏家等を目指して活動する 方々を積極的に支援するため、低料金で 気軽に市民会館大ホールのステージを 使って演奏や練習ができる支援・育成型 事業	全世代
9月頃	大ホール または 小ホール	避難訓練コンサート	市民会館のホールで地震と火災が発生し たら?!の想定でお客様にも避難訓練に 参加していただく参加・鑑賞型事業。	全世代
9/3	大ホール	文化祭50周年記念 式典	市原市文化祭が50周年を迎えることか ら記念式典を実施する。	全世代
9/25	小ホール	市原市文化祭 三曲大会	市民や団体が箏、三弦、尺八の3種の楽器 を用いて、古曲、現代曲等の演奏を披露す る文化公演。	全世代
9/25	大ホール	市原市文化祭 合唱祭	市民や団体が女声、男声、混声、手話コー ラスなどの合唱を披露する文化公演。	全世代
10/15	小ホール	市原市文化祭 吟詠剣詩舞大会	市民や団体が吟詠に合わせ舞う剣舞と詩 舞という古武道の格式と詩の心を表現す る文化公演。	全世代
10/15	大ホール	市原市文化祭 古典舞踊大会	市民や団体が歌舞伎舞踊などの古典舞踊 を披露する文化公演。	全世代
10/16	小ホール	市原市文化祭 謡曲大会	幅広い世代の市民や団体が能の詞章を謡 う謡曲を中心に披露する文化公演。	全世代
10/16	大ホール	市原市文化祭 民舞大会	市内の舞踊各流派の団体が、艶やかな着物 姿で踊りを披露する文化公演。	全世代
10/30	小ホール	市原市文化祭 民謡秋まつり	市民や団体が豊作、祭、祝事などに彩られ る秋を舞台上で唄、三味線等で表現する文 化公演。	全世代
10/30	大ホール	市原市文化祭 バレエ公演	市民や団体がバレエの華麗な舞を披露す る文化公演。	全世代
11/6	小ホール	市原市文化祭 歌謡祭	市民や団体が日頃から練習している歌謡 を披露する文化公演。	全世代

11/6	大ホール	市原市文化祭 ハワイアンフラ祭	市民や団体がハワイアンフラの魅力を伝え、披露する文化公演。	全世代
12/18	小ホール	市原市文化祭 郷土芸能大会	市内各地域でお祭りの時などに演奏される「おはやし」や「ひょっこおどり」などを披露する公演。	全世代
12/18	大ホール	市原市文化祭 太鼓の輪	市民や団体が和太鼓の迫力と魅力、そして楽しさを披露する文化公演。	全世代
11/3	大ホール	市民の日記念事業 音楽教育支援 「夢の架け橋コンサート」	平成28年度に各種コンクール、発表会で活躍した市内小・中・高校の吹奏楽部等を招いて実施する吹奏楽の参加・鑑賞型事業。	全世代
11/8 11/9	大ホール	小・中学校音楽発表会	市内の小学校、中学校が一堂に会し、合唱、吹奏楽等を披露する参加・鑑賞型事業。	全世代
H29年 2月頃	大ホール または 小ホール	文化講座	市原市人権・男女共同参画フォーラム実行委員会と協働して著名な文化人を招いて行う文化講演。	全世代
3月頃	大ホール	市民参加型事業	市民や団体と財団が協働して作り上げる熱気あふれるステージを披露する市民参加型事業。	全世代

(2) 文化振興事業（自主文化事業）

①主催公演事業

公演日	実施場所	事業名	事業内容	対象年齢
4月 14日	大ホール	パワフルコンサート	市民からのニーズの高い有名人気アーティストの鑑賞型事業。	全世代
10月頃	大ホール	ドリームコンサート	市民からのニーズの高い有名人気アーティストの鑑賞型事業。	全世代

②自主公演事業

公演日	実施場所	事業名	事業内容	対象年齢
通年	—	いちはら Artists Power	財団主催コンサートや市原市内のイベントに出演していただける文化芸術アーティストを募集し、そのアーティストに活躍の場を提供し、文化芸術の力でいちはらをもっと元気にすることを目的に実施する募集・育成型事業。	全世代
年4回	市内各所	市民力活用事業「まちくる！」	市原市内全域を視野にいれた文化振興を目的に、「いちはら Artists Power」に登録した市民アーティスト等と協働し、市内各所に出向いて実施するアウトリーチ型鑑賞事業。	全世代
年4回程度	—	文化振興広報事業	財団の文化情報や市民会館のイベント情報等を掲載する文化情報紙を発行する普及型事業。	全世代
通年	—	文化振興ボランティア	ボランティアを幅広く募集・登録し、手軽に文化活動に携わることで自ら文化活動を行うことができるような人材を育成し、市内の文化振興を図る参加・育成型事業。	全世代
6月頃	市内小学校	伝統芸能普及事業	市内の小学校に出向き日本に古くから伝わる伝統芸能（歌舞伎・能・狂言）を普及するための生涯学習を目的としたアウトリーチ型事業。	小学生
6／21 ～ 6／23	市内小学校	出前講座「おもしろサイエンスショー」	市内の小学校に出向き、身近な道具で科学の不思議や面白さを体験できる生涯学習を目的としたアウトリーチ型事業。	小学生
1月頃	市内各所	出前寄席	市原市内全域に芸術文化を普及することを目的に、古典芸能の一つである落語公演を、市内各所で実施し、市民に身近が鑑賞できる普及型アウトリーチ事業。	60代～70代

③共催公演事業

公演日	実施場所	事業名	事業内容	対象年齢
4月 17日	大ホール	市原フィルハーモニー管弦楽団第31回定期演奏会	市民管弦楽団による鑑賞型コンサート。	全世代
6月 4日	大ホール	氷川きよしコンサート	人気演歌歌手による鑑賞型演歌コンサート。	60代～70代
12月 11日	大ホール	第41回市民コンサート	市原市楽友協会による鑑賞型市民コンサート。	全世代

④支援事業

市内及び文化団体等が実施する文化活動への音響、照明等の技術提供、助言等を行う事業で、主催団体からの依頼を受けて当財団が支援を行う事業。

公演日	実施場所	事業名	事業内容	対象年齢
5月 15日	上総更級公園	第9回市原ハワイアンフュエスティバル	市原ハワイアンフュエ協会文化団体等が行う文化イベントで、音響等の技術支援を行う事業。	全世代

(2) 施設管理運営事業

①施設管理及び施設貸出

ア. ホール・会議室等の貸出業務

(貸出目標件数)

(単位：件)

施設名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大ホール	13	13	13	22	10	18	23	33	25	10	15	27	222
小ホール	12	18	20	18	12	15	24	23	15	13	19	17	206
会議室等	—	—	—	165	105	150	170	180	110	135	165	150	1,330
宴会室	—	—	—	13	3	6	8	13	24	23	13	25	128

イ. 保守点検・管理業務委託

番号	業務委託名
1	建物管理業務委託
2	緑地管理業務委託

3	昇降機保守業務委託
4	消防設備保守業務委託
5	ホール舞台設備保守業務委託
6	ホール照明設備保守業務委託
7	放送設備保守業務委託
8	ピアノ保守業務委託
9	一般廃棄物処理業務委託
10	産業廃棄物処理業務委託
11	ストレージタンク性能検査に伴う受験準備整備業務委託

II 収益目的事業

(1) 宴会室における飲食提供事業

①パーティー・宴会

(単位：件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
パーティー 会食等	—	—	—	23	7	16	18	14	32	26	22	28	186

②飲食提供事業業務委託

委託名	飲食提供業務委託	委託先	株式会社 千葉正直屋
-----	----------	-----	------------

(2) その他公益目的事業の推進に資する事業

①チケット受託販売事業

(単位：千円)

事業名	内容	事業費
チケット受託販売事業	施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外のチケットを受託販売する事業を実施する。	1,036

②施設利用者の利便性向上のための事業

(単位：千円)

事業名	内容	事業費
施設利用者の利便性向上のための事業	市原市市民会館において、施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板、飾花、ピアノ調律等の利用者サービス事業を実施する。	1,000

III その他の事業 (相互扶助事業)

(単位：千円)

事業名	内容	事業費
その他の事業 (相互扶助事業)	施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出・維持管理を行う事業を実施する。	23,363

IV その他

1 理事会及び評議員会等の開催予定

会議名	実施予定	備考
理事会	5月、10月、12月、2月	
評議員会	5月	
会計監査	5月、10月	監事による決算監査、中間決算監査

2 職員研修実施予定

研修名	実施予定回数
全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会	年1回
関東甲信越静ブロックアートマネジメント研修会（自主事業・管理部門）	年2回
全国劇場・音楽堂等技術職員研修会	年1回
関東甲信越静ブロック技術職員研修会	年1回
千葉県公立文化施設協議会技術職員研修会	年1回
ちば文化振興ネットワーク協議会	年4回
その他、文化振興・施設管理・財団運営に必要な研修	適宜

平成28事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算書

平成28事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算は、次に定めるところによる。

収支予算書総括表(損益方式)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科	目	当年度	前年度(補正後)	増減
I	一般正味財産増減の部			
	1. 経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	1,000	1,000	0
	基本財産受取利息	1,000	1,000	0
	特定資産運用益	30,000	30,000	0
	特定資産受取利息	30,000	30,000	0
	事業収益	267,830,000	268,200,000	△ 370,000
	指定管理料収益	173,200,000	210,000,000	△ 36,800,000
	入場料収益	67,630,000	41,130,000	26,500,000
	飲食提供収益	23,000,000	12,200,000	10,800,000
	受託販売収益	1,300,000	1,300,000	0
	雑収益	2,700,000	3,570,000	△ 870,000
	雑収益	1,000	1,000	0
	受取利息	1,000	1,000	0
	経常収益計	267,862,000	268,232,000	△ 370,000
	(2) 経常費用			
	事業費	283,119,730	259,682,562	23,437,168
	出演料	73,200,000	44,560,000	28,640,000
	仕入	20,550,000	10,300,000	10,250,000
	給料手当	79,413,840	79,150,500	263,340
	役員報酬	2,007,500	2,206,000	△ 198,500
	退職給付費用	6,534,000	3,570,930	2,963,070
	法定福利費	12,982,810	13,515,720	△ 532,910
	福利厚生費	891,000	962,320	△ 71,320
	旅費交通費	395,000	465,000	△ 70,000
	交際費	20,000	20,000	0
	光熱水費	0	23,624,000	△ 23,624,000
	技術消耗品費	1,500,000	1,500,000	0
	一般消耗品費	3,848,000	3,793,000	55,000
	印刷製本費	239,500	352,000	△ 112,500
	図書購入費	153,600	154,000	△ 400
	委託料	51,810,000	51,308,000	502,000
	賃借料	9,005,000	5,991,000	3,014,000
	燃料費	85,600	86,000	△ 400
	広告宣伝費	7,120,000	3,460,000	3,660,000
	通信運搬費	1,610,600	2,372,000	△ 761,400
	租税公課	432,200	369,000	63,200

修繕費	3,703,700	4,218,000	△ 514,300
支払手数料	1,481,000	1,701,000	△ 220,000
負担金	212,780	213,000	△ 220
賃金	1,030,000	200,000	830,000
経理費	700,000	800,000	△ 100,000
保険料	340,000	340,000	0
雑支出	3,800,000	3,850,000	△ 50,000
減価償却費	53,600	601,092	△ 547,492
管理費	5,012,850	4,650,530	362,320
給料手当	802,160	799,500	2,660
役員報酬	2,007,500	2,206,000	△ 198,500
退職給付費用	66,000	36,070	29,930
法定福利費	763,190	1,175,280	△ 412,090
福利厚生費	9,000	83,680	△ 74,680
旅費交通費	120,000	120,000	0
修繕費	290,000	0	290,000
印刷製本費	175,000	0	175,000
交際費	30,000	30,000	0
広告宣伝費	200,000	200,000	0
研修費	300,000	0	300,000
雑支出	250,000	0	250,000
経常費用計	288,132,580	264,333,092	23,799,488
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 20,270,580	3,898,908	△ 24,169,488
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 20,270,580	3,898,908	△ 24,169,488
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 20,270,580	3,898,908	△ 24,169,488
当期一般正味財産期首残高	188,513,807	184,614,899	3,898,908
当期一般正味財産期末残高	168,243,227	188,513,807	△ 20,270,580
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	171,243,227	191,513,807	△ 20,270,580

収支予算の事業別区分経理の内訳表
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	内部取引控除	合計
	公1	小計	収1	収2	他1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	1,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
基本財産受取利息	1,000	1,000					0			1,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000
特定資産受取利息		0					0	30,000		30,000
事業収益	213,720,800	213,720,800	23,000,000	2,500,000	28,609,200	0	54,109,200	0	0	267,830,000
指定管理料収益	144,590,800	144,590,800			28,609,200		28,609,200			173,200,000
入場料収益	67,630,000	67,630,000					0			67,630,000
飲食提供事業収益		0	23,000,000				23,000,000			23,000,000
受託販売事業等収益		0		1,300,000			1,300,000			1,300,000
雑収益	1,500,000	1,500,000	0	1,200,000	0		1,200,000			2,700,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
受取利息		0					0	1,000		1,000
経常収益計	213,721,800	213,721,800	23,000,000	2,500,000	28,609,200	0	54,109,200	31,000	0	267,862,000
(2) 経常費用										
事業費	235,831,343	235,831,343	21,889,583	2,035,978	23,362,826	0	47,288,387		0	283,119,730
出演料	73,200,000	73,200,000					0			73,200,000
仕入		0	19,550,000	1,000,000			20,550,000			20,550,000
給料手当	67,381,440	67,381,440	1,604,320	802,160	9,625,920		12,032,400			79,413,840
役員報酬	2,007,500	2,007,500					0			2,007,500
退職給付費用	5,544,000	5,544,000	132,000	66,000	792,000		990,000			6,534,000
法定福利費	11,112,460	11,112,460	249,380	124,690	1,496,280		1,870,350			12,982,810
福利厚生費	756,000	756,000	18,000	9,000	108,000		135,000			891,000
旅費交通費	390,000	390,000	5,000				5,000			395,000
交際費	20,000	20,000					0			20,000

光熱水費	0	0			0	0		0	
技術消耗品費	1,230,000	1,230,000			270,000	270,000		1,500,000	
一般消耗品費	3,545,240	3,545,240	36,000		266,760	302,760		3,848,000	
印刷製本費	146,780	146,780	60,500		32,220	92,720		239,500	
図書購入費	125,952	125,952			27,648	27,648		153,600	
委託料	42,484,200	42,484,200			9,325,800	9,325,800		51,810,000	
賃借料	8,836,920	8,836,920	35,000	24,000	109,080	168,080		9,005,000	
燃料費	70,192	70,192			15,408	15,408		85,600	
広告宣伝費	6,992,000	6,992,000	110,000		18,000	128,000		7,120,000	
通信運搬費	1,356,512	1,356,512	54,000		200,088	254,088		1,610,600	
租税公課	385,724	385,724	8,000	1,000	37,476	46,476		432,200	
修繕費	3,037,034	3,037,034			666,666	666,666		3,703,700	
支払手数料	1,335,020	1,335,020			145,980	145,980		1,481,000	
負担金	165,969	165,969	6,383	2,128	38,300	46,811		212,780	
賃金	1,030,000	1,030,000				0		1,030,000	
経理費	546,000	546,000	21,000	7,000	126,000	154,000		700,000	
保険料	278,800	278,800			61,200	61,200		340,000	
雑支出	3,800,000	3,800,000				0		3,800,000	
減価償却費	53,600	53,600			0	0		53,600	
管理費							5,012,850	0	5,012,850
給料手当							802,160		802,160
役員報酬							2,007,500		2,007,500
退職給付費用							66,000		66,000
法定福利費							763,190		763,190
福利厚生費							9,000		9,000
旅費交通費							120,000		120,000
修繕費							290,000		290,000
印刷製本費							175,000		175,000
交際費							30,000		30,000
広告宣伝費							200,000		200,000
研修費							300,000		300,000
雑支出							250,000		250,000

経常費用計	235,831,343	235,831,343	21,889,583	2,035,978	23,362,826	0	47,288,387	5,012,850	0	288,132,580
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 22,109,543	△ 22,109,543	1,110,417	464,022	5,246,374	0	6,820,813	△ 4,981,850	0	△ 20,270,580
基本財産評価損益等		0					0			0
特定資産評価損益等		0					0			0
投資有価証券評価損益等		0					0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 22,109,543	△ 22,109,543	1,110,417	464,022	5,246,374	0	6,820,813	△ 4,981,850	0	△ 20,270,580
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
中科目別記載		0					0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
中科目別記載		0					0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,999,052	2,999,052				△ 6,820,813	△ 6,820,813	3,821,761		0
当期一般正味財産増減額	△ 19,110,491	△ 19,110,491	1,110,417	464,022	5,246,374	△ 6,820,813	0	△ 1,160,089	0	△ 20,270,580
一般正味財産期首残高										188,513,807
一般正味財産期末残高										168,243,227
II 指定正味財産増減の部										
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000								3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000								3,000,000
III 正味財産期末残高										171,243,227